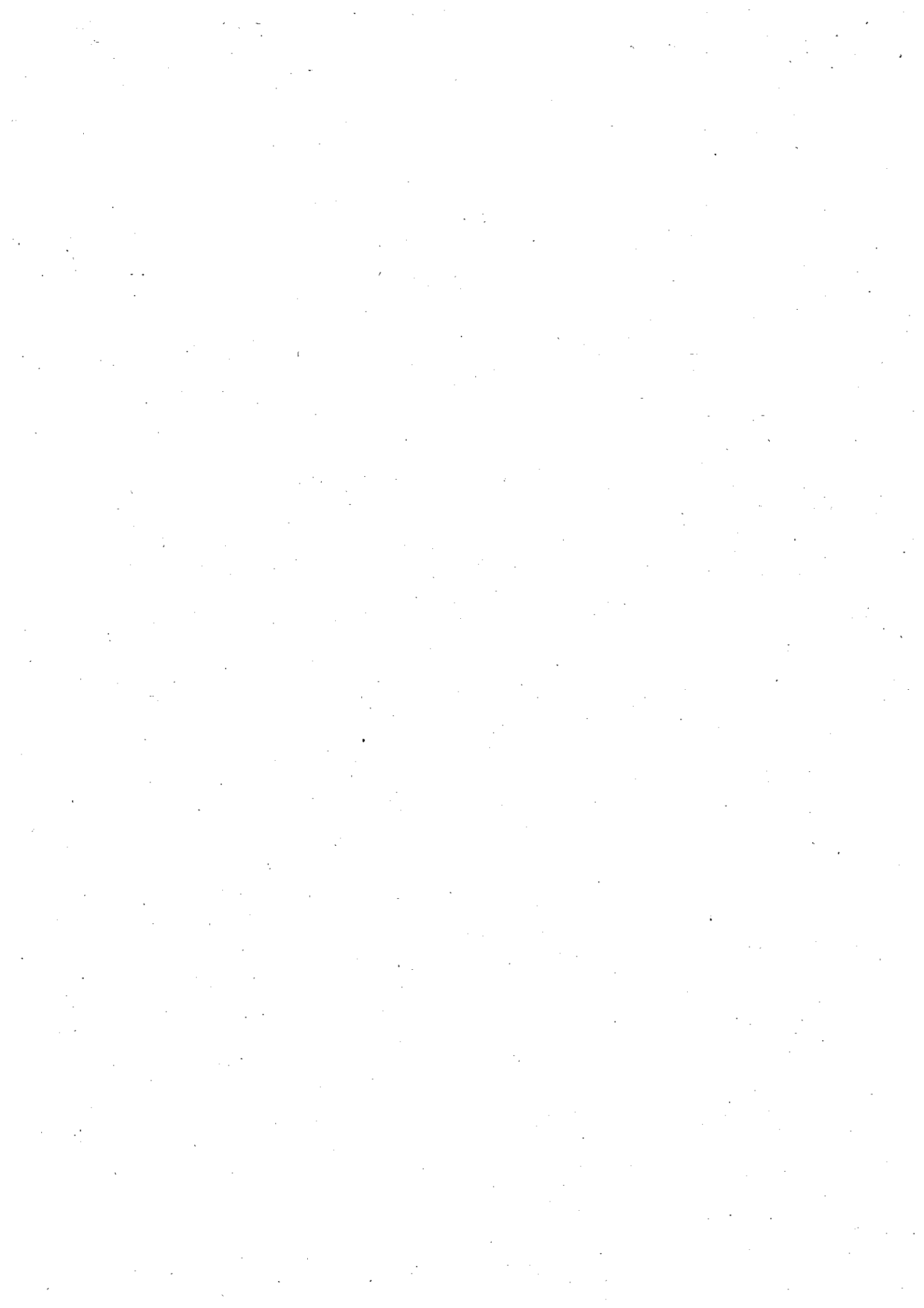


幡多地域アクションプランの進捗状況等について

(第3四半期)



幡多地域アクションプランの進捗状況等

H27. 2. 16

幡多地域本部

1 地域アクションプランの平成26年度（第3四半期）の進捗状況等（総括）

(1) 総評

アクションプラン47案件は、アドバイザー制度の活用や農林水産物加工分野の販路拡大等、事業者の地産外商に向けた意識が一層高まり、また、産業振興推進総合支援事業費補助金を活用して事業規模の拡大などに着手する案件があるなど、概ね順調に進捗している。

農業分野では、三原村のユズの産地化の取組が6年目を迎え、栽培面積の拡大が進むとともに、新規就農者用研修施設を利用した農業後継者の育成やU・Iターンの受入にも取り組んでいる。また、宿毛市では、洋ラン製品の集積化による販売促進が順調に進んでいる。

林業分野では、大月町の製炭事業において、本年度に大月町単独事業で窯3基を整備中で、H27年2月末には、合計10基となる。生産量、販売量とも順調に伸びており、大月町の基幹産業としての役割を確立しつつある。

水産業分野では、産業振興推進総合支援事業費補助金の導入により土佐清水市や黒潮町の民間事業者の加工場新設による衛生管理面の強化や生産効率を向上させる取組を進め、事業拡大が進んでいる。

商工業分野では、「道の駅なぶら土佐佐賀」が4月14日にオープンして以来、目標を上回る入客数、売上を記録しており、幡多地域の東の玄関口になっている。今後も、適宜の改善を図りながら拠点ビジネスを展開していく。

観光分野では、幡多広域観光協議会が実施する広域観光ブランド化事業により、地域団体の連携効果を更に強化しながら、民間事業者と協力して新たな観光メニューの検討や体験プログラムの磨き上げを進めており、観光の魅力アップに取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
安定した農業経営体づくりと地域に根ざした有望品目づくり ■No.1 水稲と露地野菜を基幹とした水田農業の担い手育成（幡多地域全域） 《事業主体》 ・JA高知はた	[目標(H27)] ・販売額1,500万円以上の農業経営体数 10経営体 [H26 到達点] ・5経営体 [H25 到達点] ・3経営体 → 実績4経営体 [取組状況] ・大規模志向農家ネットワークの拡大16名→18名 ・ネットワークメンバーのうち栽培面積拡大4名、省力化機械の導入1名

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 洋ランのブランド確立・流通促進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭遊六志会 ・石田蘭園 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロッコリー大規模経営に向けた研修会の開催 8 回 ・生産者交流会の開催 1 回 (10/23) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>ネットワークを活かした大規模農家の育成 ⇒品目別経営モデル、農家作業管理システムの周知 農地集積と雇用確保</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 128,300 千円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 105,900 千円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 108,600 千円 → 実績 69,194 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭遊六志会(6名) <ul style="list-style-type: none"> →石田蘭園が提案した商品を日比谷花壇が採用 →第11回国際フラワーEXPO(IFEX)に参加(10/15~17) →高知県洋蘭生産組合トレードフェア2014in大阪を開催(11/4):取引市場や小売店74社109人が来場 →JPECフラワーショー2014in香港に出品(12/5~7) →蘭遊六志会として、正月用の蘭商品の共同販売 ・石田蘭園 <ul style="list-style-type: none"> →石田蘭園の取組み記事を高知新聞が掲載(8/10) →石田蘭園のHP公開(9/26) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒市場や消費者のニーズに応じた新商品の開発 ⇒集出荷施設での出荷可能量の検討及び体制づくり ⇒効率的な配送体制の構築
<p>■No.5 三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築(三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財)三原村農業公社 ・三原村 ・JA高知はた 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培面積 50ha、果実生産量 400t、 販売金額(農家手取額) 27,500 千円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培面積 37ha、果実生産量 120t、 販売金額(農家手取額) 18,000 千円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培面積 37ha → 実績 32.5ha、 果実生産量 120t → 実績 115.8t、

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	販売金額(農家手取額) - → 実績 17,363千円
■No. 21 直七の生産、加工、販売の促進(宿毛市)	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業6名、起業支援型事業3名、地域人づくり事業10名雇用 (公社職員 H25:14名→H26:21名) ・ユズの青果出荷率向上対策にかかる共同選果施設(建物)の建築 →産振総合補助金(事業採択9/4、交付決定10/2) →選果機テスト調査の実施(愛媛県、12/5) ・研修施設整備で後継者育成 →県立農業大学校、農業振興センターと連携開始 →県農業担い手育成センターと農業公社研修希望者との面談(11/20、12/8) →受入れ実績(12月末現在):2名 ・販路開拓 →九州の清涼飲料水メーカーへの継続出荷の契約 ・ユズ加工品(新商品「ユズゆべし」)のPR活動(県内・東京・大阪・名古屋)(5/31、6/11、27) →26年度商品化に向けたパッケージ等の製作 ・ユズの青果率向上に向けた栽培技術講習(4/28、5/28、6/27、7/15、7/30、8/28、9/26、10/28、11/28) ・ユズの共同選果体制の推進(品質向上) →青玉果の目慣らし会の開催(8/28、11/4) →ユズこしょう用果実の目慣らし会の開催(9/4) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>ユズ産地拡大と後継者育成 ⇒青果率向上(現状:9.5%→目標:農業公社出荷30%) 獣害(シカ、ウサギ等)対策の規模拡大 共同選果機、搾汁機等の導入(H27整備予定)</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量200t

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七生産組合 ・直七の里(株) ・直七酒販(株) 	<p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量 150t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量 70t → 実績 103t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業で1名を雇用 ・販売促進 <ul style="list-style-type: none"> →CGC東海、北陸、関西、中国での販売決定(ポン酢) →大手物流会社との取引決定(イトーヨーカドー全店。他にフジ、マルナカ、ドラッグストアーなど) →セブンアイホールディングスの冬ギフト(ポン酢(500ml)4本セット) →551蓬萊(豚まん)でのポン酢(通年) →高知県出店予定のセブンイレブンへの出品(お惣菜、デザート) →パナソニック店舗の年末景品(ポン酢10,000本) →高島屋、三越にてポン酢及びごまドレッシング <p>・H26収穫量:130t</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>新商品の開発や他社とのコラボレーション企画の検討 直七生産量の確保 法人化に向けた事業検討</p>
<p>■No.28 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)しまんと美野里 ・四万十川を良くする会 ・四万十市 ・西土佐商工会 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量8t ・原材料(生栗)の仕入量12t <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量6t ・原材料(生栗)の仕入量10t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量6t → 実績3.1t ・原材料(生栗)の仕入量10t → 実績7.1t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者持続化補助事業を導入(全国商工会連合会事業) <ul style="list-style-type: none"> →インターネット活用による販路開拓(eコマース) →HPリニューアル(9/1)、オンラインショップ開設(9/16) ・焼栗の実演販売開始(9月～西土佐ふるさと市、めぐり

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>窪川等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会への参加 (県内3回、東京1回) ・起業支援型地域雇用創造事業により1名(～11/30)及びふるさと雇用により1名を継続雇用 ・外商販売に関するアドバイザー招聘(全国商工会連合会専門家派遣事業)2回 ・原材料(生栗)仕入量:6.5t(H25:7.1t) <ul style="list-style-type: none"> →加工内訳(原材料ベース:焼栗3,150kg、ペースト2,000kg、パウダー50kg、剥き栗700kg、蒸し栗100kg) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原材料の確保 ⇒集荷の継続実施</p> <p>出荷まで至っていない栗の発掘(契約農家の新規開拓、栽培管理収穫支援等)</p> <p>商品ラインナップの見直し ⇒利益率の高い商品の絞り込み</p>
<p>林資源の活用促進</p> <p>■No.9 森の工場・間伐の推進(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の認定を受けた事業体 <p>■No.10 「四万十の家」と地域産ヒノキの販売の推進(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の木材生産量20,000 m³ <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の木材生産量18,000 m³ <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場の木材生産量20,000 m³ → 実績11,850 m³ <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の工場を新たに3工場設立(11月末現在:23地区) ・木材生産性の高い(株)とされいほくへの視察研修(9/29) ・木材生産量(4月～9月) <ul style="list-style-type: none"> A, B材:4,517 m³、C材:1,463 t <p>[課題と今後の対応]</p> <p>基盤整備推進による木材生産性の向上 ⇒作業道路整備、高性能機械の導入</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四万十の家」着工戸数30戸 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四万十の家」着工戸数25戸 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四万十の家」着工戸数25戸 → 実績38戸

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業 (大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・大月町備長炭生産組合</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市産材利用促進事業の継続実施 (受付件数 19 件) ・四万十市広報誌で「四万十の家」を掲載 ・四万十ヒノキブランド化推進協議会総会開催 (8/19) ・もくもくランド (10/25～26)、幡多山もりフェス (11/9) へ出展 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>四万十ヒノキのPR強化</p> <p>⇒四万十ヒノキブランド化推進協議会会員市町村間の連携の推進及び各種イベントへの参加</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備長炭販売量 240t、生産窯 20 基、生産者 20 人 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備長炭販売量 129t、生産窯 7 基、生産者 8 人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備長炭販売量 107t → 実績 79.8t 生産窯 9 基 → 実績 7 基 生産者 9 人 → 実績 8 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量 (H26. 4～10 月) : 49.9t (昨年同期 : 43.9t) ・販売額 (H26. 4～10 月) : 17,538 千円 (昨年同期 : 13,883 千円) ・山主及び山師への還元 (H26. 4～10 月) : 5,347 千円 ・ふるさと雇用事業で 1 名を雇用 ・四国、関西にて直売等セールス活動 (6 月, 10 月, 2 月予定) ・大月町臨時議会 (7/10) にて窯 3 基分の補助決定 (町単) <ul style="list-style-type: none"> →窯 3 基の建設開始 (7 月着工、2 月末完成予定) <p>計 10 基</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>組織体制の強化</p> <p>⇒大月町備長炭生産組合の法人化</p> <p>販路拡大</p> <p>⇒セールス活動日数の増加</p> <p>窯増設による原木確保</p> <p>⇒地元伐採業者との安定した原木供給の契約</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>安定した漁業生産を目指す取組</p> <p>■No.15 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)沖の島水産 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 68,670 千円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 60,060 千円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 50,000 千円 → 実績 71,580 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 (H25.7~H26.6) : 71,580 千円 (対前年 170%) ・月別売上高 <ul style="list-style-type: none"> →H26.7 : 19,820 千円 (前年同月比 436%) →H26.8 : 11,960 千円 (前年同月比 253%) →H26.9 : 10,580 千円 (前年同月比 403%) →H26.10 : 10,410 千円 (前年同月比 396%) ・「目指せ!弥太郎商人塾」で H26 受講済 ・産振総合補助金導入による加工施設の建築 (6/2 完成) ・県外催事等への出展による販促活動 <ul style="list-style-type: none"> →居酒屋産業展 (7/29~31) (東京) 6 件成約 →東京シーフードショー (8/20~22) (東京) 10 件成約 →ファベックス関西 (10/8~10) (大阪) 3 件成約 ・取引開始件数 (H26.4~11月) : 34 件 ・総従業員数が 14 名に増加 (来年度 4 名採用予定) ・関連会社との連携により加工作業マニュアル策定中 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>人材育成 ⇒「目指せ!弥太郎商人塾」への従業員の受講</p> <p>商品開発 ⇒市場、消費者ニーズの調査</p>
<p>■No.35 カツオ文化のまちづくり事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町商工会 ・黒潮町 ・高知県漁協 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口 18,000 人 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口 17,000 人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口 18,000 人 → 実績 22,000 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮一番館の休館日(火曜日)を利用した「びりびり市」の開催継続 (11 月末 25 回、411 人来場) ・土佐さがのもどりカツオ祭開催 (10/18 10,000 人)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅「なぶら土佐佐賀」との連携協議(月1回開催) ・タタキの実演販売PR:11回 ・黒潮一番館入込客数(11月末):9,233人(前年同期:11,258人 82%) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>カツオ文化のまち佐賀の周知 ⇒メディアを活用したPRや町内外イベントでのPR活動</p> <p>道の駅との連携 ⇒道の駅と定期的に協議を行い、小鉢商品の提供やタタキの実演販売等を実施</p>
<p>地域産物を活用した6次産業の振興</p> <p>■No.4 6次産業化推進による地域農業振興事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)大月農園 <p>■No.12 地域活性化のための魚加工・販売体制</p>	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高:35,000千円 <p>[H26到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高:30,000千円 <p>[H25到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25売上高(H25.6月~H26.5月)18,204千円 ・緊急雇用事業で2名を雇用 ・ケール:冬の収穫用として苗を随時植付(9~10月) ・大麦:冬の収穫用として苗を随時植付(9~10月) →刈取作業(12月) ・コガネセンガン:40t収穫(20反(2t/1反)) ・生姜(大生姜+サンゴ生姜)植付(2反弱)(4~5月) →収穫(12月) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>複合経営の確立 ⇒母体事業である建設業とバランスの取れた経営 ⇒農作物の生産量の安定と品質向上 ⇒加工品(生姜ドレッシング等)の販売促進 出荷先との連携強化</p> <p>[目標(H27)]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>の強化・推進(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すくも湾漁業協同組合 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍フィレ 30t、冷凍キビナゴ 15t <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍フィレ 36.6t、冷凍キビナゴ 10t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍フィレ 19t → 実績 20t ・冷凍キビナゴ 10t → 実績 1.7t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量 <ul style="list-style-type: none"> 冷凍フィレ 9.4t (H26. 4～11月) 冷凍キビナゴ 0.8t (H26. 4～11月) ・ふるさと雇用事業で4名を雇用(加工3名、輸送1名) ・取引先 46社(東京の学校給食含む) <ul style="list-style-type: none"> →横須賀の学校給食用に22千食(1.3t)のブリ切身を納入予定 ・高知県内外の病院、学校給食用に継続して営業を実施 ・経営改善 <ul style="list-style-type: none"> 日々の「生産高-仕入額」について漁協の関係職員が情報共有できるように改善(目標60千円/日)(6月～) <ul style="list-style-type: none"> →6～11月(操業日数118日) →「生産高-仕入額」5,599千円(目標の79%) ・東京シーフードショー(8/20～22)にて、冷凍キビナゴ等を出品 ・真空包装機を導入 <ul style="list-style-type: none"> →漁業生産基盤維持向上事業補助金(12/4) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 収益性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒主力商品であるキビナゴバラ凍結の安定的な生産と作業効率の向上 ⇒利益率の高い商品の開発及び販路開拓
<p>■No.13 宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ピアサーティ 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 2.7億円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 2.2億円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 2.0億円 → 実績 2.02億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 <ul style="list-style-type: none"> →H26.4月～11月:168,624千円(前年比:136%) ・宿毛湾産の魚使用量

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.14 民間企業との連携による水産物の販路拡大(宿毛市・大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・すくも湾漁業協同組合</p>	<p>→H26.4月～11月：45,618 kg (前年比：91%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚加工商品(冷凍フィレ等)を「五穀」系列チェーン店に出荷 ・産振アドバイザーの導入(1回目：10/16) →齋藤章雄(日本料理「しち十二侯」代表・総料理長) ・中国輸出に向けた現地視察(大連：8/2～4) →商談会：青島「2014中国国際漁業博覧会」(11/5～7) ・ピアサーティグループ新店舗「沖の島龍神丸」の1号店オープン(11月：福岡県) ・工場名称の変更：五穀さかな工房→宿毛さかな工房 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>新商品の開発 ⇒アドバイザーの継続導入</p> <p>衛生面管理の強化 ⇒HACCPの取得等</p> <p>生産及び販路拡大 ⇒冷蔵庫の確保及び新施設整備の検討 中国輸出に向けた輸送検証及び販売可能性調査</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚供給高 1.19 億円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚供給高 1.19 億円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚供給高 1.03 億円 →実績 0.21 億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原魚供給高(4～10月：9,100千円(前年比71%)) ・雇用の創出(職員2名、パート5名)：11月末現在 ・鮮魚を使用した加工(惣菜)商品の製造出荷が順調 ・水産物地産外商推進事業費補助金活用 →養殖ブリフィレ加工に関する先進地視察(熊本県天草：4/25～26) →養殖ブリフィレ試験加工開始(5月) (菌検査、残留抗生剤、放射能検査等も実施) ・ブリフィレ加工品の出荷(5～10月：40,232尾、157.2t) ・高知県食品高度衛生管理手法認定申請(1商品) →26年1月取得 ・漁業生産基盤維持向上事業の導入 →真空包装機及びヘッドカッターを整備 <p>[課題と今後の対応]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 直七の生産、加工、販売の促進(宿毛市)(再掲)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七生産組合 ・直七の里(株) ・直七酒販(株) 	<p>原魚の安定確保</p> <p>⇒すくも湾漁協の冷凍施設を活用し、適宜冷凍保管</p> <p>養殖ブリフィレ加工の体制強化</p> <p>⇒機器整備による加工能力の向上(水産基盤整備事業で対応予定)</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量 200t <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量 150t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七果実生産量 70t → 実績 103t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業で1名を雇用 ・販売促進 <ul style="list-style-type: none"> →CGC東海、北陸、関西、中国での販売決定(ポン酢) →大手物流会社との取引決定(イトーヨーカドー全店。他にフジ、マルナカ、ドラッグストアーなど) →セブンアイホールディングスの冬ギフト(ポン酢(500ml)4本セット) →551蓬菜(豚まん)でのポン酢(通年) →高知県出店予定のセブンイレブンへの出品(お惣菜、デザート) →パナソニック店舗の年末景品(ポン酢10,000本) →高島屋、三越にてポン酢及びごまドレッシング ・H26 収穫量:130t <p>[課題と今後の対応]</p> <p>新商品の開発や他社とのコラボレーション企画の検討</p> <p>直七生産量の確保</p> <p>法人化に向けた事業検討</p>
<p>■No. 22 地域の素材を活用した「おいしいもの」づくり(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幡多美味工房、地域事業者等 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発8アイテム、取引先数5社 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発17アイテム、取引先数4社 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発10アイテム → 実績 17アイテム <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の創出

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>→自社雇用2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛まるごと産業祭&B級グルメフェスタに参加(11/16) ・新商品の開発(H26.4月~12月):3アイテム <ul style="list-style-type: none"> →イカ飯串(土佐清水市から仕入れたイカを使用) ・東京の取引先へのスイーツ納品 <ul style="list-style-type: none"> →ゲームイベントで販売する、プリンの上に乗せるキャラクタービスケットの作製(1万枚) ・オリジナルの商品(野菜ジャム:なす、かぼちゃ、トマト、キビナゴの燻製)を自社販売ルートで販売中 ・OEM生産 <ul style="list-style-type: none"> →ゆずの塩だれ(JA高知はた):月1,000本以上 ・幡多地域の生産者と連携した新商品 <ul style="list-style-type: none"> →プリン(国産百花ハチミツを使用) →土佐ジローミンチ肉 ・ペットショップからの商品開発依頼 <ul style="list-style-type: none"> →ペットフード(はちきん地鶏を使用) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>加工施設の新設と加工機械の導入・増設 きびなごバラ凍結の販売</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 24 地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)土佐清水元気プロジェクト ・土佐清水市 	<p>⇒宿毛市が推進する「きびなご丼」事業との連携による販売促進</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む)70人 ・地元農産物等の活用100t ・売上額2.5億円 <p>[H26到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む)56人 ・地元農産物等の活用85t ・売上額2億円 <p>[H25到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む)56人→実績56人 ・地元農産物等の活用120t→実績75t ・売上額1.8億円→実績1.28億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催事等での販促PR活動(東京2回、大阪1回、県内25回) ・商談会等への参加(東京4回、愛知1回、高知1回) ・OEM生産の継続→11社、12アイテム ・下ノ加江冷凍施設での一次加工開始(事業主体:県漁協、運営主体:元気プロジェクト)→当面は原魚ベースで1t/月の未利用資源の活用を予定 ・新商品リキュール2種(小夏・芳香パイン)販売(7/26～) ・雇用者(臨時・パートを含む)(12月末実績)57人 ・地元農産物等の活用(11月末実績)61t ・売上額(11月末実績)0.80億円 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>業務用(一次加工)商品の販売拡大</p> <p>⇒一次加工処理施設の整備による作業効率の向上、生産量の拡大</p> <p>水産事業者との連携</p>
<p>■No. 25 土佐清水発!宗田節が良くでる加工施設整備・販路拡大事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ウェルカムジョン万カンパニー 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高36,000千円 <p>[H26到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高30,000千円 <p>[H25到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略及び衛生管理面の強化に向けて、産業振興アドバ

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 26 地元農産物を使った商品開発事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・四万十市</p>	<p>イザーを招聘 (5/14、5/23、7/18、10/31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等への参加 (県内 4 回) ・催事等での販促PR活動 (東京 3 回、徳島 1 回、県内 3 回) ・産振補助金の事業採択 (加工施設の新設等) (8/7 付)、交付決定 (11/7) ・売上高 (1~11 月末実績) 42,100 千円 (前年同期比約 84%、前々年同期比: 210%) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>1 アイテムに頼りきった商品構成 ⇒新商品の開発</p> <p>生産量の拡大及び衛生管理面の強化 ⇒加工施設の規模拡大 (産振補助金を導入)</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発 15 アイテム <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発 13 アイテム <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発 13 アイテム → 実績 12 アイテム <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ商品 (JA高知はた)、ぶしゅかん商品 (チームぶしゅかん)、かりんとう (LLPしまんと)、ギョーザ (土佐四万十本舗) の 4 プロジェクトを推進 ・各種イベントでの販促活動 (37 回) ・商談会への出展 (7 回) ・検討チーム会の開催 (チームぶしゅかん、LLPしまんと) ・四万十市農商工等連携プロジェクト事業報告会 (7/24) ・市単産振補助金を活用してぶしゅかんの皮むき機を導入 ・新商品の開発 (チームぶしゅかん 4 アイテム、LLPしまんと 2 アイテム) ・農業創造セミナーへの参加 (LLPしまんと) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販路の拡大 ⇒新商品の開発、各種イベント等でのPR</p>
<p>■No. 28 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト (四万十市) (再掲)</p> <p>《事業主体》</p>	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量 8t ・原材料 (生栗) の仕入量 12t <p>[H26 到達点]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・(株)しまんと美野里 ・四万十川を良くする会 ・四万十市 ・西土佐商工会 	<ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量 6t ・原材料(生栗)の仕入量 10t <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗加工品製造量 6t → 実績 3.1t ・原材料(生栗)の仕入量 10t → 実績 7.1t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者持続化補助事業を導入(全国商工会連合会事業) <ul style="list-style-type: none"> →インターネット活用による販路開拓(eコマース) →HPリニューアル(9/1)、オンラインショップ開設(9/16) ・焼栗の実演販売開始(9月～西土佐ふるさと市、あぐり窪川等) ・商談会への参加(県内3回、東京1回) ・起業支援型地域雇用創造事業により1名(～11/30)及びふるさと雇用により1名を継続雇用 ・外商販売に関するアドバイザー招聘(全国商工会連合会専門家派遣事業)2回 ・原材料(生栗)仕入量:6.5t(H25:7.1t) <ul style="list-style-type: none"> →加工内訳(原材料ベース:焼栗3,150kg、ペースト2,000kg、パウダー50kg、剥き栗700kg、蒸し栗100kg) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>原材料の確保 ⇒集荷の継続実施</p> <p>出荷まで至っていない栗の発掘(契約農家の新規開拓、栽培管理収穫支援等)</p> <p>商品ラインナップの見直し ⇒利益率の高い商品の絞り込み</p>
<p>■No. 37 水産物加工施設整備事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)土佐佐賀産直出荷組合 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用5名 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用1名 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用3名 → 実績 新規雇用1名 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略及び衛生管理面の強化に向けて産業振興アドバイザーを招聘(5/8、5/29、7/17) ・「きびなごフィレ」がテレビ番組(6月放送旅サラダ)で

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>取り上げられたことにより注文が殺到 (約 1,200 個)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうち生協でのカタログ販売 (昨年からの毎月 2~3 アイテム掲載)
<p>■No. 38 防災関連新産業創造事業 (黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町 ・(株) 黒潮町缶詰製作所 	<ul style="list-style-type: none"> ・良品工房・オカッテ (都内) にて産直フェアの開催 (7/2~7/9) : 自社商品を使用したランチを提供しながら、販促活動の実施。 ・(株)五味商店開催商談会へ参加し、商談成立 2 件 (7/24) ・産振総合補助金の事業採択 (加工施設の新設) (8/7 付)、交付決定 (10/2) による建築着手 ・きびなご魚醤 (業務用) の注文が重なり、1 月まで在庫切れの状況 ・売上額 (3 月~11 月) 65,249 千円 (前年同期: 57,465 千円) ・「むらおこし特産品コンテスト (全国商工会連合会)」できびなご魚礁が審査員特別賞を受賞 (きびなごフィレ、きびなごペーストに続き 3 年連続の受賞) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>生産量の拡大及び衛生管理面の強化 ⇒加工施設の規模拡大 (産振補助金を導入)</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 74,000 千円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 32,400 千円 <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災関連産業交流会に加入 (5/1) ・缶詰工場の作業手順書、管理シートを作成し運営 ・10 社と商談中 ・日本缶詰協会主催の基礎技術講習を 2 名受講 ・食物アレルギーコントロールプログラム研修の実施 (4/10~11) ・缶詰新商品が 5 アイテム完成し、町内の道の駅 2ヶ所で販売開始 ・防災訓練用 (8/31) に缶詰 5,000 個を町に納品 ・町から備蓄用に缶詰 20,000 個を受注 ・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業交付決定 (12/1) →シーマー整備 (順次、充填機等を整備予定)

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・高知ビジネスチャレンジ基金優良賞受賞(支援金 200 万円) ・(株)良品計画との取引が決定(H27.4月から出荷予定)
	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>商品の完成及び人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒レシピが確定している商品から順次、ラベルデザインや賞味期限、商品価格を決定 ⇒研修の充実 <p>防災関連製品の認定及び販路開拓</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>地域再生への総合的な取組</p> <p>■No. 23 土佐清水市地域再生計画(大岐地区等の開発計画)(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐食(株) ・土佐清水市 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む) 200人 ・地元水産物の活用 2,800t ・売上額 15億円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む) 195人 ・地元水産物の活用 3,500t ・売上額 17億円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者(臨時・パートを含む) 200人 → 実績 195人 ・地元水産物の活用 3,300t → 実績 3,500t ・売上額 17億円 → 実績 16.8億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会等への参加(台湾1回、東京2回、広島1回、仙台1回、県内1回) ・5/16に道の駅「めじかの里 土佐清水」の指定管理者となり、7/19リニューアルオープン ・雇用者(臨時・パートを含む)(12月末実績) 197人 ・地元水産物の活用(11月末実績) 2,000t ・売上額: 11.33億円(11月末実績) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>食品の更なる販路拡大 ⇒新商品の開発及び販促活動</p> <p>原魚の確保 ⇒漁協、加工組合、加工業者、行政が一体となった対策の検討</p>
<p>■No. 30 西土佐拠点ビジネス推進事業(売り出せ西土佐プロジェクト)(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 ・西土佐商工会 ・地域事業者等 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品数 14商品 ・雇用者数 正規2人+α <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品数 21商品 ・雇用者数 正規2人 <p>[H25 到達点]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 31 拠点ビジネスの推進(大月町まるごと販売事業)(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(一財)大月町ふるさと振興公社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商品数 15 商品 → 実績 18 商品 ・雇用者数 正規 2 人 → 実績 2 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと雇用事業で2名の雇用継続(既存直販市) ・岐阜県多治見市、埼玉県熊谷市とのアツイまち対決(7月～9月)の実施(1位 多治見市、2位 熊谷市、3位 四万十市) ・地域人づくり事業を導入し1名雇用 ・新商品の開発:4アイテム ・西土佐ふるさと市組合(道の駅の指定管理予定団体)の総会で法人化を承認 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>道の駅の整備及び運営体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒産振補助金の申請準備 ⇒道の駅整備検討会、幹事会で検討 ⇒地域をマネジメントできる人材の育成 <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上額 2.5 億円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上額 2.05 億円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上額 2.0 億円 → 実績 1.82 億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の創出(移住関連1名、情報発信1名の計2名) ・道の駅の販売金額 売上額:H26.4～11月末;113,557千円(対前年比102.9%) 入客数:H26.4～11月末;123,263人(対前年比98.6%) ・冬季ギフト販売開始(11月～) ・コーラルイルミネーション in Otsuki の開催(12/23) ・ふれば感謝祭の開催(12/28) ・高知暮らしフェアへの参加(6/21 東京、6/29 大阪、12/14 東京) ・産振アドバイザーを導入し新商品開発の検討 →3回実施(7/17～18、8/29、9/22) →導入数を5回に変更(9/30承認済)にして、商品開発継続:アドバイザー4回目実施(11/9) →ブリのへらずしテスト販売実施中(10月～) ・移住体験ツアーの実施(7/5～6:6名、9/13～14:4名、

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 36 佐賀地区の地域資源を活用した拠点 ビジネスの推進(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)なぶら土佐佐賀 ・黒潮町 	<p>11/8～9：6名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売店及び2階レストランにWifi設置(7/28) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>経営の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒産振アドバイザー(社員教育、店舗運営)の指導を受け、経営の改善を図る <p>情報発信の強化と販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒大月町出身者など、大月町にゆかりがある方々へのアプローチを図る <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者数 正規5名、フル・パート14名 ・売上額 160,000千円 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者数 正規5名、パート14名 ・売上額 120,000千円 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用者数 パート10名 → 実績 正規5名、パート14名 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅オープン(4/14) ・オープンからのレジ通過者数(11月末)：144,008人 ・オープンからの売上実績(11月末)：129,567千円 ・商工会事業活用によるアドバイザーの導入 ・黒潮一番館との連携協議(月1回開催) ・レストランメニューに日替わりメニュー(650円、20食限定)を導入(7月～) ・町の産振補助金を活用し、全国どんぶり選手権にエントリー(エントリーメニュー(くろしおカツオ丼)は改良のうえ12月からレストランメニューに追加) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>直販スペースの改善、フードコートメニューの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒アドバイザーの導入により改善

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>滞在型・体験型観光の推進</p> <p>■No. 39 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(一社) 幡多広域観光協議会</p>	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行受入数 4,000 人 ・一般旅行受入数 30,000 人 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行受入数 1,000 人 ・一般旅行受入数 5,000 人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行受入数 1,000 人 → 実績 972 人 ・一般旅行受入数 5,000 人 → 実績 5,948 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入(11月末現在:13校 920人) ・楽しまんとうはた旅のPR <ul style="list-style-type: none"> →ガイドブック70,000部を作成し、道の駅やSA等約350箇所配布(下期ガイドも作成し配布) →はた旅フェイスブック7/1スタート(11月末845いいね) ・観光商品のブランド化に向けて、JTB職員をアドバイザーとして招へいし、現地視察、市町村プレゼンを実施(6/9~10、9/8~9、10/16~17) <ul style="list-style-type: none"> →観光商品の洗い出し ・食のブランド化(塩タタキ(四万十市)、清水サバ(土佐清水市)、キビナゴ井(宿毛市))に向けた関係機関協議 ・藤沢アドバイザーによる民泊研修を開催し(6/9~10)、新たに19件が登録 ・広域観光推進部会設置(7/16) <ul style="list-style-type: none"> →5専門チーム会(四万十川流域、マリンレジャー、グルメ、教育旅行受入、スポーツ合宿等誘致)によるブラッシュアップの検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>幡多広域観光協議会の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒民間団体、事業者が参画する仕組みの構築 ⇒運営資金を確保するために、法人化後の総括、今後の事業計画を策定し、市町村へ協力依頼 ⇒27年度~29年度の支援継続について、市町村が了承

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 40 竜串観光再発見事業（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・土佐清水市観光協会 ・NPO竜串観光振興会 ・竜串地区 ・竜串自然再生協議会 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 12.5 万人 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 11.5 万人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 11 万人 → 実績 10.2 万人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアガイドによる竜串・見残し観光実施中 ・足摺海洋館あり方検討委員会の最終とりまとめを受け、基本計画検討委員会を設立（第1回 12/21） ・観光施設の快適性向上に向けたトイレ等の改修工事完成（9/2）（県補助金活用） ・環境省事業導入による海域公園内の清掃活動（12/2） ・ふるさと雇用事業で1名の雇用継続 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>地域資源を活かした具体的な戦略展開 ⇒地区全体の将来ビジョン創造、受入体制の充実 はた博で造成した体験プログラムの磨き上げ 足摺海洋館改築の方向性</p>
<p>■No. 42 足摺・竜串を中心としたジオパークへの取り組みによる交流人口の拡大（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・(仮称) 足摺・竜串ジオパーク推進協議会 	<p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークガイド登録者数 10 人 <p>[H26 到達点]</p> <p>—</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市産業振興課内にジオパーク推進係設置（4/1） ・土佐清水ジオパーク推進準備会設立（4/17）、推進準備会開催（6/20、11/6）

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 43 四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光の推進(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市観光振興連絡会議 ・奥四万十楽しまんプロジェクトチーム ・四万十市 ・41℃プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市内にてジオパーク講演会開催(4/17、11/20) ・日本ジオパークネットワーク準会員加盟(5/1) ・ジオパーク専門員による出前講座(11/19 市連合婦人会) ・ジオガイド研修会(11/21) ・日本ジオパークネットワーク研修会及び総会への参(5/28～5/29) ・市広報誌を活用した住民向け周知活動(7月号から連載) ・先進地(認証地)視察(室戸、四国西予) ・市職員等を対象とした庁内連携研修会開催(8/26) ・9/1付けで専門員1名を雇用 ・産振アドバイザーを活用し、足摺地区、竜串地区でワークショップ形式による「地域の宝探し」を実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>推進体制の構築、受入体制の整備</p> <p>⇒準備会を核とした協議会の立ち上げ、ジオパークの素材(ジオサイト)の選択、地域での勉強会の開催</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 120万人 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 120万人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 - → 実績 126万人 (指標及び目標の変更) <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十花絵巻の開催(桜、藤、つつじ、菖蒲、紫陽花) ・サイクルトレイン四万十号の運行(江川崎～窪川) <ul style="list-style-type: none"> 4/19～5/25の土、日、祝 132人 9/20～11/3の土、日、祝 123人 ・四万十川周遊川バス運行(4/26～5/6、7/19～8/31 199人(H25実績:208人)) ・周遊観光バスしまんと・あしずり号運行(金、土、日、祝) ・予土県境地域連携実行委員会(H26.3.27設立)主催のサイクルイベント「2リバービューライド」開催(9/14、参加者数183人) ・岐阜県多治見市、埼玉県熊谷市とのアツイまち対決の実施(1位 多治見市、2位 熊谷市、3位 四万十市) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>通年・滞在型観光に向けた観光商品の開発・ブラッシュ</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 45 黒潮町の地域資源を活かした体験型観光の推進(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO砂浜美術館 ・黒潮町 	<p>アップ</p> <p>⇒体験メニューのブラッシュアップ</p> <p>愛媛県との県境連携(予土県境地域連携実行委員会)の強化による周遊の促進</p> <p>[目標(H27)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 60 万人 <p>[H26 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 69 万人 <p>[H25 到達点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込客数 69 万人 → 実績 62.9 万人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Tシャツアート展開催(5/3~5/7 20,217人) ・大方シーサイドはだしマラソン(5/3 1,148人) ・いごっそうアクアスロン大会(7/27 227人) ・シーサイドギャラリー(8/15 12,000人) ・土佐さがのもどりガツオ祭開催(10/18 10,000人) ・黒潮町観光ネットワーク総会(7/1 21人) ・民泊受入衛生講習会(5/20 6人) ・防災プログラムの磨き上げに向けて観光アドバイザーを招聘(6/21) <ul style="list-style-type: none"> →防災モニターツアー4回実施 →岡山の中学生を受入(9/29 260人) ・スポーツ合宿、大会の招致(8回 2,265人泊) ・スポーツ合宿等誘致活動(50団体) <ul style="list-style-type: none"> →H27 ミズノカップの開催内定 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>宿泊観光客の増</p> <p>⇒スポーツ大会、合宿の誘致活動の強化</p>

②上記以外で特記すべき取組 特になし

2 平成26年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 25 土佐清水発!宗田節が良くでる加工施設整備・販路拡大事業(土佐清水市)</p>	<p>衛生管理面の強化、製造量の拡大に向けた加工場の新築及び販売促進</p>	<p>21,735 (10,062)</p>
<p>■NO. 37 水産物加工施設整備事業(黒潮町)</p>	<p>衛生管理面の強化、製造量の拡大に向けた加工場の新築</p>	<p>77,760 (36,000)</p>

■NO. 5 三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築（三原村）	自動選果機及び搾汁機導入に向けた加工場の新築	234,613 (50,000)
■NO. 13 宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進（宿毛市）	中国輸出に向けた、活魚による水陸輸送調査及び商談会への参加	4,818(1,864)

3 県民参画に向けた取組

- ・幡多地域のパネル展示（6/27～7/11：県庁1階）
- ・幡多信用金庫との包括協定連絡会（4/25）
- ・中村商工会議所役員会で食の観光商品化に向けた取組の概要説明（5/14）
- ・高知県産業振興計画シンポジウム（5/16：四万十市 中央公民館）
- ・宿毛商工会議所、宿毛市、広域観光協議会、地域本部等できびなご井の観光商品化に向けた協議（6/12）
- ・土佐清水商工会議所、土佐清水市、土佐清水市観光協会、広域観光協議会、地域本部等で清水サバの観光商品化に向けた協議（7/3）
- ・ハローワーク四万十で産振計画の説明（7/23）
- ・幡多地域のパネル展示（9/5～12：県庁1階）
- ・中村商工会議所、広域観光協議会、地域本部等で塩タタキの観光商品化に向けた協議（10月）
- ・宿毛商工会議所、宿毛市、広域観光協議会、地域本部等できびなご井の観光商品化に向けた協議（10月）
- ・土佐清水商工会議所、土佐清水市、土佐清水市観光協会、広域観光協議会、地域本部等で清水サバの観光商品化に向けた協議（10月）

4 相談案件：14件

NO	相談日	事業種別	相談内容
1	4/2	雇用	共同作業所における専門人材の雇用に関する相談
2	4/11	食品加工	加工場の新設及び店舗開設に関する相談
3	5/28	食品加工	水産加工品の商品開発に関する相談
4	5/28	食品加工	畜産物の食品加工に関する相談
5	6/6	食品加工	農産物の食品加工に関する相談
6	6/10	観光	龍馬パスポート登録に関する相談
7	7/16	食品加工	農産物の食品加工に関する相談
8	8/4	食品加工	水産加工場への機械導入に関する相談
9	8/6	商品販売	地域産品のネット販売に関する相談
10	9/11	食品加工	水産加工場の新設及び店舗開設に関する相談
11	9/24	新エネルギー	小水力発電所の設置に関する相談
12	12/3	林業	サカキ、シキビの流通規模拡大の相談
13	12/10	食品流通	四万十鶏の食品流通に関する相談
14	1/7	農業	冬虫夏草の人工栽培に関する相談

